

令和6年蔵王町議会第2回定例会 12月会議

令和6年12月5日（木曜日）

出席議員（13名）

1 番	平 間 徹 也 君	2 番	宇田川 敬 之 君
3 番	佐 藤 敏 文 君	5 番	藤 澤 麻衣子 君
6 番	葛 西 清 君	7 番	馬 場 勝 彦 君
8 番	村 上 正 文 君	9 番	今 千 佳 君
10 番	松 崎 良 一 君	11 番	外 門 清 君
12 番	伊 藤 雅 代 君	13 番	村 上 一 郎 君
14 番	佐 藤 長 成 君		

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町 長	村 上 英 人 君
副 町 長	平 間 喜久夫 君
会 計 管 理 者 長	我 妻 敏 君
会 計 課 長	鈴 木 賢 君
総 務 課 長	佐 藤 洋 一 君
防 災 専 門 監	高 橋 幸 治 君
まちづくり推進課長	川 井 大 文 君
町 民 税 務 課 長	大 槻 充 夫 君
保 健 福 祉 課 長	鹿 島 亜 希 君
子 育 て 支 援 課 長	宮 澤 一 弘 君
環 境 政 策 課 長	佐 藤 敏 彦 君
農 林 観 光 課 長	大 槻 健 一 君
建 設 課 長	鈴 木 智 子 君
病 院 事 務 長	

上 下 水 道 課 長	平 間 勝 文 君
教 育 長	文 谷 政 義 君
教 育 総 務 課 長	日 下 光 義 君
生 涯 学 習 課 長	佐 藤 孝 志 君
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	佐 藤 武 憲 君
農 業 委 員 会 事 務 局 長	山 家 信 行 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	佐 藤 長 也 君
事 務 局 長 補 佐	相 原 宏 美 君

議事日程 第1号

令和6年12月5日（木曜日） 午前10時00分 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会議日程の決定
- 日程第 3 諸般の報告
- 日程第 4 行政報告
- 日程第 5 委員会調査報告
- 日程第 6 請願第 1号 蔵王町小中学校給食費の無償化を求めることについて
- 日程第 7 陳情第 4号 全国一律最低賃金制度の創設と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求めることについて
- 日程第 8 陳情第 5号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書の提出を求めることについて
-

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前10時00分 開議

○議長（佐藤長成君） それでは皆様、おはようございます。

12月開会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

本日議会定例会12月会議を再開し、議員各位には多忙の中、出席の下、再開できますことを感謝申し上げたいと思います。

今年も早いもので、残すところカレンダーあと1枚となりました。日数にして26日となりました。まず最初に、蔵王町にとって大変明るい材料がありますので、皆さんもご承知だと思いますが、その点についてお話しさせていただきたいと思います。

庁舎の玄関前に紹介されておりますけれども、セリーグの新人王に輝いた読売ジャイアンツの船迫大雅選手、これ今年の新人王を獲得したということで、本当に蔵王町町民にとってもうれしい話題であり、大変名誉なことだと思っております。

船迫選手につきましては、昨年ドラフト5位でジャイアンツに入団をしまして、永野小学校、そして円田中学校、それから、高校は福島県の伊達市にあります聖光学院に行って、それから東日本国際大学、それから社会人の西濃運輸と、そういう経歴を踏んで昨年ドラフト5位でジャイアンツに指名をされ、入団されたところでありました。そして、今年は、入団2年目、51試合に登板して4勝0敗という、そして22ホールという、大変すばらしい成績でもありました。そして、防御率も2.37をマークして、こういった成績でもってセリーグの新人王を獲得をしたということでございます。

本人がコメントしております。来年は、この賞を糧にして来年は最優秀の中継ぎの投手賞を目指したいというような、さらにまた上を目指して頑張っていきたいというような、そんな話でございましたので、我々蔵王町民として、一丸となって応援していきたいものだなと思っております。

さて、先月の29日にはえぼしスキー場で県内一番早いスキー場開きとなりました。今年も雪が少なく、当日石子ゲレンデで積雪はまだ5センチ程度の雪でありましたということでもあります。今シーズンも雪に恵まれて、多くのスキーヤーやスノーボーダー、そして家族連れが訪れて、事故のないスキーシーズンを迎えることを願っているところでございます。

また、町内の農作物の収穫も終了して、米については東北農政局で発表された宮城県南部の作況指数は106と発表されましたが、本町で期待した収穫ではなかったようです。106というと9俵くらいの収穫だというような数値であります。現実で蔵王町としては、少し現実から離れたのではないかなと、そんなふうに思っております。

品質については、昨年乳白米が大分発生して、一等米が下がったということもありまして、水稲農家で水管理も徹底して、今年は上位等級米、一等米ですけれども、71%であったという農協の関係者のお話でありました。

一方、果樹の主力である梨については、高温障害があったものの、台風の被害もなく、市場単価も例年よりもよく、まずまずの成果の出来だなというようなことでありました。

また、蔵王町のブランド品として期待されておりますリンゴの「はるか」は、今月明日、あさってですけれども、7日と8日にはるか祭を開催予定しております。暑い夏となったものの、定期的な降雨量もあって、順調な生育となって、今はるか農家の皆さんは出荷作業に追われているようであります。

いずれにいたしましても、各農家の皆さんは、1年の収穫を終えて一安心しているところではないかなと思っているところでもあります。

さて、議員各位におかれましては、常任委員会での視察研修、それから、本町に議会に対する視察対応、また、この前2日間で開催した議会報告会では、53名の町民の皆さんに参加をいただき、そして109件の案件で町や議会に対しご意見、要望等をいただいたところでありました。その取りまとめもこの前までかかって取りまとめもしていただきました。大変お疲れさまでございました。

議会報告会は、議会と町民の皆さんと直接対面し、ご意見等を伺う大切な機会と捉えておりますし、出されたご意見、要望は、今後の議会活動、まちづくりに生かすよう努めていかなければならないと思っているところであります。

本日より始まる定例会12月会議であります。町長より議案第88号から議案第102号まで、15議案が上程されます。短い日程期間ではありますが、慎重審議に当たっていただき、活発なる12月会議になりますことをご期待申し上げ、開会に当たっての挨拶とさせていただきます。

12月5日は休会の日ですが、議事の都合により、特に令和6年蔵王町議会第2回定例会12月会議を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますから、議会は成立いたしました。

本日の議事日程は、お手元に印刷配付のとおりであります。日程に従い議事を進めます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（佐藤長成君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、10番松崎良一君、11番外門 清君を指名いたします。

日程第2 会議日程の決定

○議長（佐藤長成君） 日程第2、会議日程の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本第2回定例会12月会議の会議日程につきましては、別途お手元に配付のとおり、議案等の審議の関係上、本日から12日までの8日間としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議ありませんので、本第2回定例会12月会議は、本日から12日までの8日間とすることに決しました。

日程第3 諸般の報告

○議長（佐藤長成君） 日程第3、諸般の報告をいたします。

本第2回定例会12月会議に町長から議案第88号から議案第102号までの15件が提出され、これを受理しておりますので、報告いたします。

次に、総務経済常任委員会、教育民生常任委員会及び議会広報編集特別委員会において視察調査を行いましたので、その調査結果報告についてはお手元に配付のとおり、委員長から報告があります。

次に、去る11月12日に教育民生常任委員会に付託された請願第1号の審査結果報告については、お手元に配付のとおり、教育民生常任委員長から報告があります。

次に、佐藤敏文君から仙南地域広域行政事務組合議会定例会の報告がありましたので、お手元に配付のとおりであります。

次に、代表監査委員から令和6年10月分の例月出納検査の結果報告がありましたので、お手元に配付のとおりであります。

次に、研修会に議員の派遣を決定したので、お手元に配付のとおり報告します。

次に、今 千佳君、伊藤雅代君から議員派遣結果報告書が提出されましたので、お手元に配付のとおりであります。

次に、お手元に配付の陳情書一覧のとおり、意見書の提出等を求める3件の陳情書が提出され、陳情第3号から陳情第5号として受理しておりますが、陳情第3号については、議会運営先例基準第130項の規定により、陳情書の写しの配付をもって報告とし、陳情第4号及び陳情第5号は、議案としてお手元に配付のとおりであります。

次に、本第2回定例会12月会議に説明員として出席を求めた者の職、氏名については、一覧表としてお手元に配付のとおりであります。

次に、町長から挨拶の申出がありましたので、これを許します。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） 皆さん、おはようございます。

本日ではありますが、ここに議員各位のご参集の下、令和6年第2回定例会12月会議が再開されるに当たりまして、一言御挨拶を申し上げさせていただきます。

議員各位におかれまして、平素から町政運営に対し格別のご理解とご協力をいただき、深く感謝を申し上げる次第であります。

季節の移り変わりは早いもので、今年も残すところ僅かとなり、年末の何かとせわしい時期となったところであります。

紅葉に染まっていた蔵王の山々も次第に雪化粧へと装いを変えようとしている中、先月の29日ではありますが、宮城蔵王えぼしスキー場がオープン、また、今月の14日ではありますが、宮城蔵王のすみかわスノーパークスキー場がオープン予定であり、本町も本格的な冬山シーズンを迎えたところであります。

遠刈田温泉を含め、本町に県内外から多くの皆様が来町され、スキー、スノーボード、樹氷鑑賞、温泉などを満喫して、観光の町として大いににぎわうことを期待するものであります。

本格的な冬期間に入り、除雪作業が開始される時期にもなつてまいりました。町では安全安心な冬道対策として、町民、そして冬のシーズンに観光に訪れた方々が安心して雪国の魅力を満喫できるよう、これまで同様に万全の除雪体制を取って、効率的、効果的に除雪作業を進めてまいりたいと考えているところであります。

また、3月会議でお認めいただきました令和6年度の各課の事業、事務事業も計画に沿って順調に進んでいるところであり、また、基幹産業である農業、観光の面においても、観光客の入込数、農作物の収穫状況共に順調な年であったと感じているところであります。

先月の26日ではありますが、町、そして町民にとって大変喜ばしいニュースが入つてまいりま

した。先ほど議長からお話ありましたが、日本野球機構のNPBであります、AWARDS 2024において蔵王町出身のプロ野球選手、船迫大雅選手、投手であります、読売ジャイアンツが最優秀新人王に選ばれたということでもあります。

船迫選手は、聖光学院高等学校から東日本国際大学へ進み、社会人の西濃運輸で4年間プレーした後、2023年26歳のときにドラフト5位で読売ジャイアンツに入団、2年目の今期、見事最優秀新人王に輝いたものであります。

町としても船迫選手の栄誉を称え、町民栄誉賞を授与したいと考えているところであります。

さて、本日開会の12月議会においては、人事案件、動産の取得、工事請負契約の変更、条例の一部改正、各種会計補正予算など、全15議案を提出させていただきました。

つきましては、全議案とも慎重審議の上、可決決定くださるよう、よろしくお願いを申し上げます。挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

日程第4 行政報告

○議長（佐藤長成君） 続いて日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申出がありましたので、これを許します。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） それでは、行政報告をさせていただきます。

まず初めに、総務経済部門の行政について、ご報告を申し上げます。

まず、定額減税調整給付金について、ご報告を申し上げます。

今年度の給付につきましては、9月会議でもご報告申し上げましたとおり、8月から給付を開始し、10月末で受付を締め切ったところであります。

11月20日をもって振込を完了し、その実績は2,278人（支給率96.3%）に対し9,456万円となったものであります。

次に、証明書交付手数料のキャッシュレス決済についてご報告を申し上げます。

11月5日から町民税務課窓口で各種証明書交付手数料のキャッシュレス決済を導入したところであります。

住民票の写しや戸籍謄本、納税証明書など、証明書の手数料を支払う際、クレジットカードや電子マネー、バーコード決済が利用できるもので、導入後ほぼ毎日利用されております。

本町は、今年4月の「みやぎキャッシュレス納付推進宣言」にも参加しており、今後も町民

の利便性向上につながるデジタル化やキャッシュレス納付の推進に努めてまいります。

次に、消費者との交流とにぎわい創出についてご報告を申し上げます。

去る9月1日、蔵王町ふるさと文化会館駐車場を会場に、11回目となる「みやぎ蔵王梨まつり」を開催いたしました。町外から予想を超える多くの皆様にご来場いただき、大盛況に終えたところであります。売上げも昨年より増加し、生産者の収益に大きくつながるなど、蔵王ブランド梨を大いにPRできたところであります。

また、9月15、16日の2日間、仙台駅改札口前中央スペースエリアにおいて、蔵王の魅力を大々的にPRする「仙台駅蔵王町フェア」を開催いたしました。本町の魅力を大々的にPRするとともに、仙台牛をはじめ梨、里芋、卵などの農畜産物やチーズ、プリンなどの加工品の販売を行い、大変好評を得たところであります。

さらに、10月26、27日の2日間、「第19回蔵王町産業まつり」を開催いたしました。友好都市となった東松島市や茨城県常陸大宮市の出店や蔵王町観光大使の協力をいただきながら、本町の特産の販売を行ったところであります。町内外から多くの皆様にご来場いただき、天候にも恵まれ、大盛況となったところであります。

仙台市近郊に位置しているという利点を生かし、消費者との交流と各種イベントにより、蔵王町の認知度、蔵王ブランドの向上と本町に訪れる交流人口の拡大を図り、生産者、観光事業者の所得の向上につなげてまいります。

次に、教育民生部門の行政についてご報告を申し上げます。

蔵王ジオパークセンターオープンについてご報告を申し上げます。

10月5日、多くの来賓をはじめ関係者の出席の下、蔵王ジオパークセンターのオープニングセレモニーを開催したところであります。このセンターは、蔵王ジオパーク構想の情報発信と普及啓発を目的とした拠点施設であり、観光はもとより、教育旅行や視察研修など、本センターを起点とした旅の出発点として幅広い世代に楽しんでいただける施設を目指してまいります。

今後も本町に1人でも多くの方々が訪れるきっかけとなるよう、センターの充実強化を図り、蔵王の持つ自然のすばらしさと魅力を県内外に強く情報発信しながら、日本ジオパーク認定の実現に向け、着実に準備を進めてまいります。

次に、宮認定こども園の増築改修工事の落成についてご報告を申し上げます。

10月23日、蔵王町認定こども園（愛称「おひさまこども園」）の落成式を挙行いたしました。落成式では園児たちと関係者27名が出席し、協力者への感謝状贈呈や町観光大使の幹さ

んが作詞作曲した園歌が園児たちによって披露され、園の落成を祝ったところであります。令和5年4月の開園後、同11月より増築・改修工事を進めてまいりましたが、新たに2歳児や5歳児の保育室などの増築や既存園舎の改修工事、さらに園児の安全確保のためにフェンス工事や監視カメラの設置工事を行い、より安心安全に利用できる施設として完成したところであります。

なお、永野地区の認定こども園（愛称「おおぞらこども園」）については、令和7年4月の開園に向け、順調に準備を進めております。

今後につきましても、子供が健やかに成長できる環境整備に努めることで、より質の高い幼児教育・保育を実現し、子供・子育て支援の充実を図ってまいります。

次に、秋のスポーツイベントについてご報告を申し上げます。

10月4日に宮城蔵王カントリークラブを会場に、今年で3回目となる「林家たい平杯町民ゴルフ大会」が開催されました。この大会には30組100名のゴルフ愛好家が参加してプレーを満喫いたしました。大会の表彰式では、林家たい平師匠がプレゼンターとなり、入賞者一人一人に声がけしながら記念品を贈呈していただき、会場は大いに盛り上がったところであります。

また、11月4日には第2回目となる「緑JOYモルック南東北交流大会」を総合運動公園多目的グラウンドを会場に、宮城県はもとより山形県や福島県など、32組94名の方が参加して、秋晴れの中、熱戦を繰り広げられたところであります。参加賞には、七日原地区の高原大根などが配られ、地元の特産品の当たる大抽選会では蔵王酪農センターのモルックや小妻坂地区にオープンしたサカイ珈琲の食事券、様々な豪華景品が当たり、参加した皆様に喜ばれ、蔵王町の地域振興と知名度向上に一定の貢献ができたものと考えております。

本大会にご支援をいただいた関係機関の方々に対しまして、深く感謝を申し上げる次第であります。

以上、申し上げまして、行政報告とさせていただきます。

○議長（佐藤長成君） 以上で行政報告を終わります。

日程第5 委員会調査報告

○議長（佐藤長成君） 日程第5、委員会調査報告を議題といたします。

総務経済常任委員会、教育民生常任委員会及び議会広報編集特別委員会において、視察調査を行ったので、その調査結果について委員長から報告願います。

初めに、総務経済常任委員長から報告願います。3番、佐藤敏文君登壇願います。

〔3番 佐藤敏文君 登壇〕

○3番（佐藤敏文君） それでは、委員会調査の結果報告をいたします。

令和6年11月18日

蔵王町議会議長 佐藤 長 成 殿

総務経済常任委員会

委員長 佐藤 敏 文

委員会調査結果報告

本委員会は、下記のとおり視察研修を実施し、その結果は下記のとおりでしたので報告します。

記

1. 視察研修期間 令和6年10月16日（水）～18日（金）

2. 研修視察先及び研修事項

（1）埼玉県長瀨町

・観光振興の取り組みに関する視察研修

（2）群馬県吉岡町

・防災対策に関する視察研修

3. 視察研修委員

委員長 佐藤 敏 文 副委員長 外 門 清

委 員 藤 澤 麻衣子 委 員 馬 場 勝 彦

委 員 村 上 正 文

委員外 議 長 佐藤 長 成

4. 随員職員

事務局長 佐藤 長 也

5. 視察研修の内容

（1）埼玉県長瀨町：観光振興の取り組みに関する視察研修

令和6年10月16日（水）午後2時から午後3時30分

長瀨町役場 4階 全員協議会室

対応者 長瀨町産業観光課 課長 常木 真人 氏

主幹 山口 貴 氏

主任 稲福 光樹 氏

主事 浅見 周 氏

長瀬町議会 議長 岩田 務 氏

経済観光常任委員会委員長 鈴木 日出男 氏

長瀬町議会事務局 局長 前沢 克之 氏

・長瀬町における「観光振興」について、先進的な取り組み等についての説明を受けた後、質疑による内容確認等調査を行った。

その調査結果は別紙のとおりである。

(2) 埼玉県吉岡町：防災対策に関する視察研修

令和6年10月17日（木）午後2時から午後3時30分

吉岡町役場 3階 全員協議会室

対応者 吉岡町総務課 課長 小林 康弘 氏

建設課 課長 大澤 正弘 氏

吉岡町議会 議長 廣嶋 隆 氏

総務産業常任委員会委員長 富岡 栄一 氏

同 副委員長 宮内 正晴 氏

吉岡町議会事務局 事務局長 福島 良一 氏

・吉岡町における「防災対策」について、先進的な取り組み等についての説明を受けた後、質疑による内容確認等調査を行った。

その調査結果は別紙のとおりである。

6. まとめ

(1) 長瀬町における「観光振興の取り組み」について

年間300万人以上が観光に訪れる長瀬町は、5つの課題と方向性を令和2年3月に策定した「長瀬町観光振興計画」に掲げ、小さい町ではあるが、人口減少と少子高齢化に伴い基幹産業の観光業と製造業が縮小することのないように、観光振興を進めている。

本町は、農業と観光の町であるから、特に遠刈田温泉を中心とした観光戦略、さらには、インバウンドを見据えた周遊型の観光戦略も必要不可欠である。今はホームページによる情報の発信に加え、SNSによる情報発信と、その拡散により国内外に情報が飛び交う状況にあり、その影響力は非常に強く大きい。また、観光消費はその土地のもの

を「買う」・「食べる」だけでなく、「体験する」にもシフトしている。よって、本町においても、体験型観光メニューの充実を図り、観光客の受け入れ体制（ソフト・ハード）整備に積極的に取り組み、年間を通してテレビなどメディアへの露出を高める観光戦略を推し進められたい。

（２）吉岡町における「防災対策」について

群馬県内でも唯一の人口増加自治体として、町が取り組む防災対策や防災・気象情報等の住民周知の徹底を図り、防災行政に取り組んでいる。また、住民自らが「支え愛マップ」を作成し、行動要支援者等を助け合う関係性を地図に表記し、“見える化”して情報の共有にも取り組んでいる。

本町においても、住民への防災情報等伝達是最も重要なことであるため、複数の手段で速やかに情報が伝わるようシステムの構築を検討するとともに、避難行動要支援者の安全確保のため、「支え愛マップ」を参考にするなどして、個別避難計画の整備、充実に努められたい。

以上、委員会調査の結果報告といたします。

○議長（佐藤長成君） 次に、教育民生常任委員長から報告願います。7番馬場勝彦君。

○7番（馬場勝彦君） すみません。ただいま総務経済委員長から報告がありました報告書の中で、間違っている点がありましたので、2ページにおける（２）の埼玉県吉岡町という記載になっております。これ、正式には「群馬県吉岡町」ということだと思いますので、正式報告書になりますので、誤字の訂正を求めます。

○議長（佐藤長成君） ただいま7番馬場議員から、今の報告書で2ページの（２）番、埼玉県吉岡町と報告ありましたが、これは正確には「群馬県吉岡町」という地名でありますので、訂正願いたいと思います。訂正いたします。委員長、よろしいですね。（「はい」の声あり）

それでは次に、教育民生常任委員長から報告願います。6番葛西 清君、登壇願います。

〔6番 葛西 清君 登壇〕

○6番（葛西 清君） それでは、委員会調査の結果報告をいたします。

令和6年11月19日

蔵王町議会議長 佐藤長成 殿

教育民生常任委員会

委員長 葛西 清

委員会調査結果報告

本委員会は、下記のとおり視察研修を実施し、その結果は下記のとおりでしたので報告します。

記

1. 視察研修期間 令和6年10月30日（水）～11月1日（金）

2. 研修視察先及び研修事項

（1）埼玉県秩父市

・ジオパーク秩父の取り組みに関する視察研修

（2）埼玉県久喜市

・ICT教育に関する視察研修

3. 視察研修委員

委員長 葛西 清 副委員長 伊藤 雅代

委員 平間 徹也 委員 今 千佳

委員 松崎 良一 委員 村上一郎

委員外議長 佐藤 長成

4. 随員職員

事務局長 佐藤 長也

5. 視察研修の内容

（1）埼玉県秩父市：ジオパーク秩父の取り組みに関する視察研修

令和6年10月30日（水）午後3時から午後4時30分

秩父市歴史文化伝承館（中央公民館） 5階 第1会議室

対応者 秩父市産業観光部観光課 山越 翔太 氏

一般社団法人 秩父地域おもてなし観光公社

事務局長 井上 正幸 氏

上席推進員 吉田 健一 氏

地域マネージャー 持田 あゆみ 氏

秩父市議会 議長 堀口 義正 氏

・秩父市における「ジオパーク秩父」について、先進的な取り組み等についての説明を受けた後、質疑による内容確認等調査を行った。

その調査結果は別紙のとおりである。

(2) 埼玉県久喜市：ICT教育に関する視察研修

令和6年11月1日（金）午前9時30分から午前11時

久喜小学校 1階 コンピュータ室

対応者 久喜市教育委員会 教育部指導課

指導主事兼参事兼指導課長 飯野 純子 氏

指導主事兼GIGAスクール推進室長 山本 純 氏

久喜小学校 校長 青山 里美 氏

・久喜市における「ICT教育」について、久喜小学校のタブレットを使用した授業（1年生・4年生・6年生）を公開していただき参観した後、先進的な取り組み等についての説明を受け、後に質疑による内容確認等調査を行った。

その調査結果は別紙のとおりである。

6. まとめ

(1) 秩父市における「ジオパーク秩父の取り組み」について

平成21年度から秩父地方（秩父市を中心とした1市4町）が連携する「ちちぶ定住自立圏構想」に取り組んでおり、圏域住民に必要な生活機能の強化のひとつとして「ジオパーク秩父」を掲げている。

ジオパーク秩父は、最初の認定から13年が経過しており、地域連携DMO「一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社」内に「ジオパーク推進協議会事務局」を置き、地域遺産の保護・保全、そして観光、教育に活かす事業を効果的に展開している。

本町では、単独による認定を目指しているところであるが、地域住民に対するジオパークの意義の浸透を図り、蔵王火山の地質学、歴史、生活と文化が融合した新たな観光、郷土教育を推進して、地域の魅力発信と活性化に努められたい。

(2) 久喜市における「ICT教育」について

久喜市のICT教育は、「日本ICT教育アワード」経済産業大臣賞受賞するなど先進的な取り組みを行い、子供たちに対する個別最適な学びと教職員の事務効率化を推進し、その成果を上げている。

また、児童生徒の心身の変調もグーグルホームを通して予兆を掴み、迅速な対応にもつながることができている。

本町においても、国のGIGAスクール構想により整備したタブレットは今後更新の時期を迎えることから、教育のための学習ツール、校務の効率化のための事務ツールと

して、計画的な予算付けをもって機器等の更新を進め一層の活用を期待したい。また、教職員の働き方改革にあたっては、ＩＣＴの活用による業務改善を図るべく「統合型校務支援システム」の早急な導入を検討されたい。

以上、委員会調査の結果報告といたします。

○議長（佐藤長成君） 次に、議会広報編集特別委員長から報告願います。1番平間徹也君、登壇願います。

〔1番 平間徹也君 登壇〕

○1番（平間徹也君） それでは、委員会視察調査結果報告をいたします。

令和6年11月27日

蔵王町議会議長 佐藤長成殿

議会広報編集特別委員会

委員長 平間徹也

視察研修調査結果報告

本委員会は下記のとおり視察研修を実施し、その結果は下記のとおりでしたので報告します。

記

1. 視察研修期日 令和6年10月22日（火）
2. 研修視察先 宮城県 利府町議会
3. 研修事項 議会広報編集、発行等全般に関する調査
4. 視察研修委員
委員長 平間徹也
副委員長 村上正文
委員 宇田川敬之
委員 藤澤麻衣子
委員 今千佳
委員 伊藤雅代
5. 随員 事務局長補佐 相原宏美
6. 視察研修内容

〈利府町議会広報研修会〉

日時 令和6年10月22日 午後1時30分～3時

場所 利府町議会 全員協議会室（2階）

対応者 利府町議会 議会広報常任委員会

委員長 鈴木 晴子 氏・副委員長 今野 隆之 氏

委員 高久 時男 氏・委員 金萬 文雄 氏

委員 高木 綾子 氏・委員 須田 聡宏 氏

委員 郷右近佑悟 氏

事務局長 川口 優 氏・主査 戸石 美佳 氏

※詳細は別紙のとおり

7. まとめ

今回の研修では、編集に当たっての基本的事項として、読者に審議の経過と内容を分かりやすく正確に伝える議会情報の広報機能だけではなく、中学生・高校生や大人に対する「社会教育」の材料となり得ることも考え、編集・発行に取り組んでいく必要があると感じたところである。

紙面編集については、読者の読む気を誘うような紙面デザインや目を引くようなタイトル、視覚的に情報把握できるような写真に加え、レイアウトは文字を少なく余裕のある紙面づくりを意識すべきと感じた。特に、1ページあたりの目安として文字を40%、見出しと写真を40%、余白を20%に意識することは大変参考となり取り込んでいきたい。

編集体制については、議会広報発行の必要事項を「議会広報発行要領」に定めて運用しており、本町にはないことから今後の必要性を感じたところである。

広報編集作業については、ICT推進や議会のペーパーレス化が進んでおり、執筆や校正などをタブレットで行うことにより作業効率が上がるなどのメリットが大きいようである。当町としても、まずは委員全員がパソコン等で編集作業をしていくことで意思疎通を図り、よりよい議会広報紙になるよう常に進化していきたい。

以上、ご報告申し上げます。

○議長（佐藤長成君） 以上で委員会調査報告を終わります。

日程第6 請願第1号 蔵王町小中学校給食費の無償化を求めることについて

○議長（佐藤長成君） 次に、日程第6、請願第1号 蔵王町小中学校給食費の無償化を求めることについてを議題といたします。

本件については、去る11月12日に教育民生常任委員会に審査を付託したものでありますの

で、委員長より審査結果の報告を求めます。6 番葛西 清君、登壇願います。

〔6 番 葛西 清君 登壇〕

○6 番（葛西 清君） それでは、教育民生常任委員会に付託されました請願の報告をいたしたいと思います。

令和6年11月21日

蔵王町議会議長 佐 藤 長 成 殿

教育民生常任委員会

委員長 葛 西 清

請 願 審 査 報 告 書

本委員会に付託された請願は審査の結果、次のとおり決定したから、会議規則第94条第1項の規定により報告します。

記

1. 審査の経過

請願の審査のための委員会は、令和6年11月21日（木）に開催した。

当日は、請願者並びに紹介議員に出席を求めて、請願の要旨等について説明を求めるとともに意見を聴取し、質疑を行った。

また、参考人として教育総務課長に出席を求めて、意見聴取及び質疑を行った後に、討論を経て採決した。

2. 審査の経過

受理番号	受理年月日	件 名	審査結果	措 置
請願 第1号	令和6年 10月4日	蔵王町小中学校給食費の無償化を求めることについて	採択とすべきもの	

◆委員会の意見

請願者から、少子化対策と保護者の負担軽減を目的とした給食費無償化の必要性和、学校給食に地場産品を多く活用することによる農業振興について、さらに地元食材の活用による安全安心な給食の質の向上と、子供の成長における食の重要性について説明を受けるとともに、紹介議員からは、財政状況を考慮しつつ、小中学校同時実施の可能性について言及があった。

また、参考人の教育総務課長には、県内35市町村のうち16の市町村で給食費無償化の取組があることや、文部科学省における給食費無償化の実態調査の状況と、現在、国において

は小中学校の給食実施状況の違いによる課題の整理を行い、法制面を含めて具体的方策の検討に進むとしていることなどの説明を受けたところである。

委員からは、本請願に至った経緯や、給食費を無償化とした場合の財源確保の問題、給食に使用する地場産品の使用率向上などについて確認を行った。その結果、請願者から、町長公約に給食費無償化を掲げられていたが、二元代表制により議会にも合意してもらった上で進める必要があると考えたことから請願に踏み切ったことや、参考人から、財源確保について、町ふるさと納税の回復や国では「こども未来戦略方針」にも掲げられた給食費無償化の動きがあること、また、地場産品では、町内産青果が重量ベースで青果全体のうち約11.4%の納入実績があるものの納入規格の関係で調達が大変厳しい状況にあることなどの答弁があったところである。

当委員会として、町長が11月12日に行った所信表明において、「令和7年度に中学生の学校給食費の無償化を実施する。小学生の学校給食費については、今後の財政状況を十分に勘案しながら蔵王中学校の開校と同時に無償化を実施し、子育て世代の経済的負担のさらなる軽減に努める。」と発言されたことを織り交ぜながら、請願者の願意を真摯に受け止め議論し、採決を行った結果、本請願については採択することとした。

なお、「学校給食費無償化のための安定財源の確保が必要であること」、及び「給食に地場産品を安定して納入できる体制づくりが必要であること」の2件を当委員会の付帯意見とするものである。

以上、報告といたします。

○議長（佐藤長成君） これより委員長報告に対する質疑を許します。なお、質疑は、蔵王町議会運営先例基準第89項の規定により、総務経済常任委員会に所属する議員のみが行うことになります。それでは、質疑ありませんか。5番藤澤麻衣子君。

○5番（藤澤麻衣子君） 給食費の無償化は、保護者の負担軽減に大変なメリットがあると考えられますが、そのほかのメリットもあると考えられますが、どのような話合いが行われ、負担軽減以外のメリットも上がったのでしょうか。

また、デメリットとして、財政負担も考えられますが、現在の住民サービスを継続しながら可能でしょうか。

そして、一番の懸念は無償化の影響として、その享受した子供たちが大人になったときに行政サービスの低下などのデメリットのないよう、その点も踏まえ検討されたのでしょうか。

○議長（佐藤長成君） それでは、今2点藤澤議員からありました。委員長。

○6番（葛西 清君） 委員会では、そういったメリット、デメリットの話合いはある程度したんですが、とにかく町長が言っていたように、ご父兄の方々の負担軽減を第一に考えて、皆さんで全会一致で賛成という形になりました。

○議長（佐藤長成君） 5番藤澤麻衣子君。

○5番（藤澤麻衣子君） 子供たちが蔵王町の皆さんから支えられ、大切に育てられているということを自覚し、蔵王町で育ってよかったと思い大人になっていくということが大切だと思っています。

ただ無償化だけではなく、その点の指導や思いやりのある心を育む教育ができるような環境をつくってほしいと思います。

○議長（佐藤長成君） 委員長。

○6番（葛西 清君） 今回は、給食費無償化というだけのことでございますので、その辺はご勘弁ください。

○議長（佐藤長成君） それでは、そのほかありませんか。8番村上正文君。

○8番（村上正文君） 審査の中で、財源の確保の関係、具体的に必要となる財源はどれぐらいというふうに見込んで、どのようにしてその財源を確保していくかというふうな確認をされたのかをお伺いいたします。

○議長（佐藤長成君） 教育民生常任委員長。

○6番（葛西 清君） ちょっと待ってください。

○議長（佐藤長成君） 暫時休憩します。

午前10時56分 休憩

午前10時58分 再開

○議長（佐藤長成君） 再開いたします。

教育民生常任委員長。

○6番（葛西 清君） 失礼いたしました。

あまり細いことは話なかったんですが、金額的に中学校で1,500万円ですね。小学校で2,500万円、合わせて4,000万円ということでございます。

○議長（佐藤長成君） 8番村上正文君。

○8番（村上正文君） 先ほどの質疑で、金額と併せて、その財源確保の関係についてお伺いしておったんですが、答弁いただけなかったなので、もう一度お願いします。

- 議長（佐藤長成君） 教育民生常任委員長、財源確保の関係です。
- 6番（葛西 清君） 財源確保は、ふるさと納税のほうからということでございます。
- 議長（佐藤長成君） よろしいですか。ほかに質疑ありませんか。（「なし」の声あり）

それでは、委員長どうぞ。

それでは、ほかに質疑がありませんので、これをもって質疑を終結いたします。

続いて、討論に入ります。委員長報告が採択のため、最初に請願を採択することに反対の方の発言を許します。討論ありませんか。（「なし」の声あり）

討論がありませんので、これをもって討論を終結いたします。

これより直ちに採決をいたします。

採決は起立により行います。

本請願に対する委員長の報告は採択です。委員長報告のとおり本請願を採択することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔起立11名〕

- 議長（佐藤長成君） 起立多数であります。よって、請願第1号 蔵王町小中学校給食費の無償化を求めるとについては、採択されました。

本請願は、町長に送付することといたします。

日程第7 陳情第4号 全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求めることについて

- 議長（佐藤長成君） 続いて、日程第7、陳情第4号 全国一律最低賃金の創設と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出を求めることについてを議題といたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております陳情第4号については、所管の総務経済常任委員会に審査を付託し、審査終了までの継続審査とすることにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、陳情第4号については、所管の総務経済常任委員会に審査を付託し、審査終了までの継続審査とすることに決しました。

日程第8 陳情第5号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書の提出を求めることについて

○議長（佐藤長成君） 続いて、日程第8、陳情第5号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書の提出を求めることについてを議題といたします。

お諮りいたします。ただいま議題となっております陳情第5号については、所管の教育民生常任委員会に審査を付託し、審査終了までの継続審査とすることにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、陳情第5号については、所管の教育民生常任委員会に審査を付託し、審査終了までの継続審査とすることに決しました。

以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

午前11時04分 散会

上記会議の次第は、事務局長の記載したものであるが、内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 会 議 長

署名議員10番

署名議員11番